

カドリニウム系 MRI 用造影剤を用いる検査をうけられる方へ

この検査で使用するガドリニウム系 MRI 用造影剤は、患者様の病気の診断や、より詳しい病気の状態を明らかにすること

に役立ちます。この薬は安全な薬剤ですが、次のような副作用があります。

- ① 軽い副作用：吐き気・嘔吐・動悸・かゆみ・発疹などが、およそ 5%以下の方にみられます。
- ② 重い副作用：呼吸困難・意識障害・血圧低下などが、およそ 0.1%以下の方にみられます。

このような重い副作用に対しては通常治療が必要で、注射や点滴、重症の場合は気管内挿管などの処置を行なう場合があります、後遺症を残す場合もあります。

* 造影剤を注射する際に、血管外に造影剤がもれる場合があります。少量の造影剤がもれた場合は特別な処置は必要ありません。また、注射部位あるいはその周辺部位の疼痛・しびれが長く残る場合もありますが、非常にまれです。しかし、多量にもれた場合は減圧などの処置が必要になることがあります。これは非常にまれにしかおこりません。

当院では、検査中放射線技師または看護師が患者様の様子を観察しており、また万一の重篤な副作用が起きた場合は、最善の処置が行なえるように万全の体制を整えております。

～カドリニウム系 MRI 用造影剤の禁忌について～

- 1. ガドリニウム系 MRI 用造影剤により重篤な副作用がみられた患者
 - 2. ガドリニウム系 MRI 用造影剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 上記に該当する方はガドリニウム系 MRI 用造影剤の使用はできません。

造影検査同意書（患者様控え）

同意事項

- 1) 主治医（ ）から造ガドリニウム系 MRI 用造影剤を使用する検査の目的、必要性、副作用について十分な説明を受けて理解した。
 - 2) ガドリニウム系 MRI 用造影剤を使用すること、もし副作用が生じた場合にはそれに対する処置を受けること、これらの処置に要した費用を負担すること。
 - 3) 造影検査の了承は、患者様本人または代理人の任意の同意に基づくもので、当院の医師の強引な説得や強制によるものではないこと。
 - 4) 造影検査についてさらに詳しい説明を受けたいときは、適宜追加説明を受けることができる。
 - 5) 患者本人または代理人は、検査を受けることを同意した後、いかなる場合でも同意の撤回ができること。
- 尚、同意なければ造影剤の使用はできないこと。

患者様氏名： _____ 様

同意日 年 月 日

患者本人又は代理人（続柄 ） 署名 _____

医療法人 有光会 サトウ病院

TEL 06-6961-3191

1. 検査前の絶食について

午前の検査は朝から絶食。

午後の検査は、朝は軽食で、昼は絶食。

水分は、造影検査1時間前までに水またはスポーツドリンク500~1000mlを飲用して下さい。(体重50kg目安)。

2. 検査時の注意

造影剤を注射中に体全体が熱く感じるがありますが、数分で治まり心配ありません。注射中に針のところが痛い場合は造影剤が血管外にもれている可能性がありますので、すぐにお知らせ下さい。また、「気分が悪い」、「息苦しい」などの症状があらわれた場合、造影剤の副作用の可能性があり、すぐに大声でお伝え下さい。

3. 検査後の注意

ガドリニウム系 MRI 用造影剤を注射したあとは、水・お茶などの水分をいつもより多く摂ってください。例えば、検査後半日で水またはスポーツドリンク500~1000mlを飲用(体重50kg目安で)。

造影剤が尿と一緒に速やかに排出されます。ただし、水分摂取を制限されている方は、通常どおりにしてください。

まれに造影剤注射後数日たってから、じんましん、むくみ、血圧低下などの副作用があらわれることがあります。その際は当院にご連絡ください。

4. 授乳中の方へ

ガドリニウム系 MRI 用造影剤は母乳中に移行しますので造影剤注射後およそ48時間は授乳を控えてください。